

銚田二高サツマイモ研究班の第1回学習会のようす ～茨城県の農業の現状について学習、げんでん科学技術振興事業の研究の進め方を確認～

7月19日（水）12:40～14:10（90分）にかけて、サツマイモ研究班の第1回学習会として、茨城県の農業の現状などについて学習しました。

この日は、宮地教頭（教科：農業）が講師となって、農業科1年生3名、農業科2年生1名、農業科3年生2名、総合学科メディア・マーケティング系列2年次2名の合計8名の生徒が参加しました。

茨城県の農業の現状では、問題形式で、産出額全国1位の農産物、基幹的農業従事者数の変化などについて学習しました。

また、7月14日（金）に訪問したJ Aなめがたしおさい「なめがた地域センター」の訪問について写真を見ながら、説明いただいた内容や見学した感想などについて共有しました。

さらに、第26回げんでん科学技術振興事業の研究計画をもとに、研究の進め方を確認するとともに、甘い焼き芋をつくるために、8月に予備実験、9月に本実験に取り組む計画を立てました。

サツマイモ研究班では、これからも楽しくサツマイモの研究に取り組んでいきます。

～学習会のようす～



問題1 次のア～オで、茨城県が産出額全国1位(2020年)の農産物はどれか。あてはまるものをすべて選んでください。

ア 鶏卵

イ メロン

ウ ビーマン

エ レンコン

オ クリ

答 ア、イ、ウ、エ、オ

ア～オの写真は、茨城をたべようホームページより

◇ 全国2品目別産出額順位 (資料:生産農業所得統計)

順位	品目	産出額(億円)
全国第1位	13品目	鶏卵、かんしょ、メロン、ピーマン、れんこん、ほししいち、みずな、こまつな、切り枝、チンゲンサイ、芝、くり、せり
全国第2位	5品目	レタス、はくさい、らっきょう、みつば、らっかせい
全国第3位	8品目	ねぎ、にら、スイートコーン、もやし、ごぼう、マッシュルーム、みょうが、こんにゃく

茨城県農林水産業の概況 (令和4年6月 茨城県農林水産部)より

問題6 茨城県の基幹的農業従事者数と平均年齢は(2020年)。

答 基幹的農業従事者数は、57,496人で、平均年齢は、67.5歳。
基幹的農業従事者数は、年々減少しており、高齢化が進行。

◇ 本県の基幹的農業従事者数と平均年齢 (資料:農林業センサス)

年	茨城県	全国
H10	58.6歳	59.6歳
H12	61.5歳	62.2歳
H17	64.4歳	64.2歳
H22	66.0歳	66.1歳
H27	66.8歳	67.0歳
H32	67.5歳	67.8歳

基幹的農業従事者の平均年齢

「基幹的農業従事者」とは、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。

茨城県農林水産業の概況 (令和4年6月 茨城県農林水産部)より

問題8 茨城県の農業の現状についてまとめてみよう。

表 茨城県の農業の現状

項目	数値	全国順位	調査年	備考
総人口	286万人	11位	2019年	
総面積	609,739 ha	24位	2019年	
農業産出額	4,417億円	3位	2020年	園芸51%、畜産29%、米17%、その他3% 【産出額上位10品目】 1 コメ、2 鶏卵、3 豚、4 かんしょ、5 生乳、 6 ねぎ、7 肉用牛、8 ビーマン、9 レタス、10 メロン
耕地面積	162,300 ha	3位	2021年	減少傾向
荒廃農地面積	11,393 ha	—	2020年	増加傾向
基幹的農業従事者数	57,496人	2位	2020年	減少傾向、高齢化が進行 平均年齢67.5歳(全国67.8歳)
新規就農者数	357人	—	2020年	青年(16～45歳)が、304人。 中高年齢者(46歳～65歳)が、53人。 前年度より減少
産出額が全国1位の農産物	13品目	—	2020年	鶏卵、かんしょ、メロン、ピーマン、れんこん、ほししいち、みずな、こまつな、切り枝、チンゲンサイ、芝、くり、せり

茨城県農林水産業の概況 (令和4年6月 茨城県農林水産部)より

第26回 げんでん科学技術振興事業応募

甘い焼き芋をつくらう

茨城県立銚田第二高等学校 サツマイモ研究班

1 はじめに

学校の所在する銚田市は、メロン、いちご、トマト、みずななどの全国有数の産地で、農業が盛んな地域である。銚田市・行方市などの産地地域では、温暖な気候と栽培に適した土壌によりサツマイモ栽培が盛んである。今回、地域の特産品のサツマイモについて、(1)～(6)をテーマにして研究に取り組んだ。

番号	テーマ	方法
(1)	サツマイモの産地と収量の変化	インターネット記事、新聞記事をもとにまとめる。
(2)	サツマイモの新品種の開発	研究者からオンライン講義で説明を聞く。 インターネット記事、新聞記事をもとにまとめる。
(3)	茨城県におけるサツマイモの輸出の現状と課題	J Aなめがたしおさいの「なめがた地域センター」を訪ね、 インターネット記事、新聞記事をもとにまとめる。
(4)	東南アジアでの焼き芋ブーム	バイヤーに聞き取り、タイ出身の方に聞き取り調査。 インターネット記事、新聞記事をもとにまとめる。
(5)	焼き芋が甘くなるメカニズム	インターネット記事をもとにまとめる。
(6)	甘い焼き芋をつくらう	なべ、ソーラークッカーを使用して、糖度などを測定。